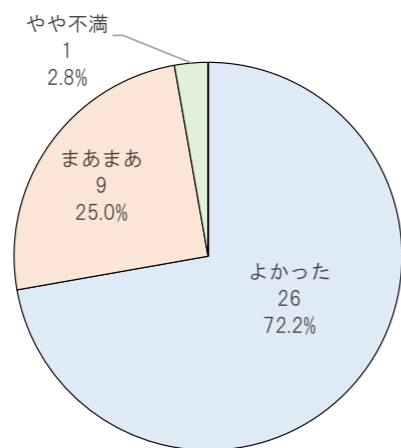


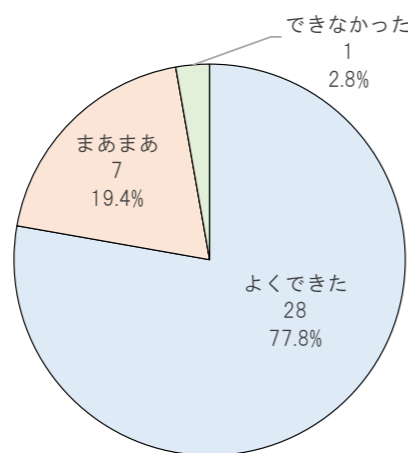
参加者アンケート結果（抜粋）

Q. 本日のワークショップ全体の印象はいかがでしたか。



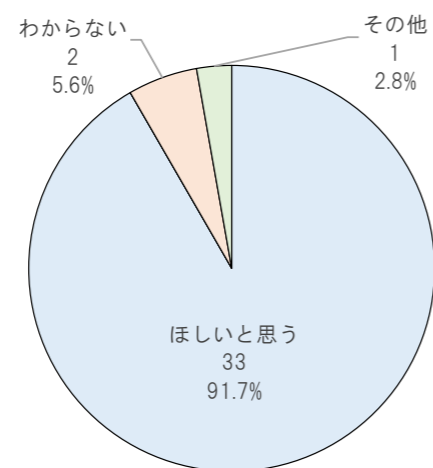
N=36

Q. グループ内の議論はいかがでしたか。



N=36

Q. 今後もこのように、南関町に関わる若者が集う場がほしいと思いますか。



N=36

★自由意見（抜粋）

同世代の色々な意見が聞けてよかった・楽しかった	このあとどうなったか・どうなるのかを知りたい
参加していない人の声を拾い出すことも大事と思う	「未来」に逃げず今すべきことに目を向けなければならない
グループを変えて話をする機会があってもよい	地域がより良くなるようにしていきたい
参加者と SNS 交換したかった	行政と民間が力を合わせないといけない

南関町地域未来構想ワークショップニュース

住民ワークショップ「若者編」を開催しました

南関町では、地域住民・団体・行政が一体となった『チーム南関』による「誰もが住みやすいまちづくり」を目指しており、「南関町地域未来構想」の検討を進めているところです。

そこで、南関町に関わる様々な立場の人の声を集約し、地域未来構想に反映していくため、住民ワークショップを開催しています。

今回は、地域未来構想ワークショップ第1回目となる「若者編」を開催しました。

本ニュースでは、当日の議論成果と参加者アンケート結果をご紹介します。

住民ワークショップ「若者編」

日時：11月5日（金）19時～21時

場所：うから館 2F 会議室

プログラム：

1. 開会・あいさつ
2. 情報提供（町の全体像・アンケート結果）
3. ワーク「住みたいまちのアイデアをシェアしよう」
4. 発表・まとめ
5. 閉会



当日はもともとの企画を大幅に上回る、36名にご参加をいただき、7グループに分かれて議論を行いました。本会には出身や現在のお住まいが南関町でない人にも参加をいただいたことで、より多様なアイデアを集めることができました。

ワークの冒頭に「南関町の住み心地を5点満点でつけるなら？」とおたずねすると、全員の平均は3.1点でした。魅力も課題も込められた評価だからこそ、『魅力をどう活かすか』『課題をどのように改善するか』の議論が深まったと思います。

次回は年齢関係なく、校区のまちづくりを議論する「校区編」を2回にわたって開催いたします。

【次回ワークショップ】第1回 校区别編

日時：令和3年11月18日（木）・19日（金）19時～21時

場所：うから館 2F 会議室

皆さまのご参加、お待ちしております！

住民ワークショップ「若者編」意見一覧

※「☆」がある取組みアイデアは、特に重要なもの

魅力	課題	取組みアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ○自然が豊か ○空気がきれい ○星がきれい ○田舎らしさがある ○のどかさがある ○水がきれい、水道がかからない ○子どもと遊べる ○山も川も農地もある 	<ul style="list-style-type: none"> ×景観は美しくない(ソーラーパネル、田園風景) ×自然がきれいに保全されておらず、荒廃しているところもある ×中途半端な田舎感 ×猪が出る ×自然を活かした遊び場や公園がない ×虫や草が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ●田舎の価値を上げるPRをする(棚田など自然景観を整える)☆ ●キャンプやオートキャンプ、釣りなどができる自然を活かした公園づくり☆ ●季節の花などを活用(ひまわり大作戦)☆ ●農地を家庭菜園レベルにして貸し出す☆ ●自然の中で町良くするのがウリの学校をオープン☆ ●休耕地の活用(キャンプ場、貸農園) ●フォレストアドベンチャー南関を作る(よい田舎感を活かす) ●スケボーのバンクをつくる☆ ●人+公園 アスレチック施設☆ ●子どもを連れていきたい大きな公園の整備☆ ●レンタルチャリ☆子どもに山、土、畑など自然を体験することへの強化 ●ドッグランを作る ●サバゲー拠点 ●温泉が楽しめる場所
<ul style="list-style-type: none"> ○お米や野菜類など農産物がおいしい ○おいしい特産品がある ○夏も冷たい地下水が飲める 	<ul style="list-style-type: none"> ×若者向けの遊興施設が少ない ×居酒屋やお店が少なく、土日に閉まっている ×飲んだら帰れない ×飲食店の時間が短い ×商店街に活気がない ×インバウンドきているのに商機をつかめない ×スポーツ・運動施設が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブランド南関米を町ぐるみで作っていく(県外の有名なホテルと連携も)☆ ●みそ汁とおにぎりの店を作る☆ ●イノシシを食べる習慣や飲食店をつくる☆ ●地元食材を自ら調理できる共有できる場所☆ ●ブランド南関米を町ぐるみで作っていく(県外の有名なホテルと連携も)☆ ●みそ汁とおにぎりの店を作る☆ ●イノシシを食べる習慣や飲食店をつくる☆ ●地元食材を自ら調理できる共有できる場所☆ ●南関野菜の加工→ブランド化☆ ●県外の有名なホテルと提携して米・水のブランド化☆ ●農業法人の生産性を高める ●体験農園
<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツがさかん ○公共施設の使いやすさ 	<ul style="list-style-type: none"> ×安売りしすぎ ×農業がしにくい・耕作放棄地の増加 ×仕事が少なく、特に学力のある人の職が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ選手を呼びやすくする ●芸能人など著名人を呼ぶ ●公共施設の有効活用(子どもの会や老人会などとのイベントの開催など) ●総合スポーツセンター(野球場、陸上競技場など)を作る ●図書館をスタバ付きに(武雄図書館イメージ) ●代行補助 ●セキアの空きテナントの活用☆ ●レンタルスペース☆ ●今ある店舗に頑張ってもら☆ ●ワーバーイーツを導入
<ul style="list-style-type: none"> ○車で30分圏内に店がそろっている 	<ul style="list-style-type: none"> ×子どもが少なくコミュニティが狭い ×大きめの病院がない ×子ども同士で遊ぶときに送迎が必要 ×小学校の見回りが必要でも共働きで難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい加工品を売る☆ ●いきいき村とコラボする☆ ●PRする☆ ●町外の飲食店を呼ぶ☆ ●常設マルシェを作る☆南関あげいなりの専門店を作る ●国道443号沿いに飲食店を誘致する(ほっともっと等) ●小代焼の産業観光地化 ●役場にスタバやコワーキングスペースなど機能充実 ●圃場整備や補助で若手農業従事者を増やす
<ul style="list-style-type: none"> ○農業がしやすいような場所が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てしやすい(環境も制度も) ※多数意見 	<ul style="list-style-type: none"> ●移動販売(とくし丸) ●食料品、日用品、コインランドリー、カフェ等を集約した場所をつくる☆ ●ドラッグストアの誘致 ●IC近くにファストフード店の誘致 ●小学校を1つにして送迎車を入れる ●地域での見回り協力(地域の人々の参加)
<ul style="list-style-type: none"> ○住宅の近隣は静かで住みやすい ○住宅が広い ○のどかでゆっくりと感じる暮らしができる 	<ul style="list-style-type: none"> ×空き家が多い ×賃貸住宅が少なく家賃が高い ×トイレの下水が浄化槽でない ×災害(水害)に弱く災害が多い ×テレビ・携帯の電波が悪い ×外灯が少なく夜が暗い ×暴走族が時々うるさい 	<ul style="list-style-type: none"> ●アパートを建てる・古いアパートは改装する☆ ●ベッタタウン化する☆ ●地域の集まりに参加すると家賃助成や農機具が得られるなど、移住者にメリットをつくる☆ ●基地局や通信環境の整備をする ●避難路を周知・確保しておく ●空き家の無料貸し出し ●ソラーパネルを活用した外灯設置 ●通学路を安全にし、外灯を増やす
<ul style="list-style-type: none"> ○近くを新幹線が通っている ○ICが2つある ○渋滞が無い ○車があればどこへでも行けて便利 ○近隣市町や都市部への距離も遠くない ○ほど良い田舎 	<ul style="list-style-type: none"> ×最寄り駅がない ×公共交通が不十分、車がないと生活できない ×どこに行くにも遠い ×路側帯が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> ●南関タクシーと町等が連携して子どもだけで乗れる「子どもタクシー」☆ ●約30分で大牟田・玉名・荒尾・山鹿に行けることを活かす ●町道・県道の通学路整備 ●通学の選択肢が増えるように電車(駅)を通すなど公共交通を充実させる ●自動運転の回遊バスを社会実験(ぶつかってもいいスピードとやわらかさ) ●バイパス等の建設でさらに交通網の整備 ●巡回バスの増加 ●シェアカー、シェア乗車 ●ガソリン代補助 ●ペイペイ導入 ●バスを増やす ●新幹線駅へのシャトルバス・乗り合いバス運用
<ul style="list-style-type: none"> ○のんびりしている ○独自の文化が残り、文化芸能に寛容 ○人との距離感がよい ○面白い人が意外という ○野菜をもらえるなどご近所付き合いがある ○生まれ育った場所である ○人権教育 ○子どもへのスポーツ指導等が充実している 	<ul style="list-style-type: none"> ×部落の仕事が大変 ×地域のブランディングできてない ×価値観が古い ×マナーがよくない ×閉鎖性や閉塞感、しがらみがある ×トッパ丸ありき(でも新しいチャレンジがない) ×行政主導のイベントばかり ×まちづくり課がまちづくりできない ×情報を受け取る方法が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●店舗に頼らず、フェスなどでまちを盛り上げる☆ ●町民体育祭の復活☆ ●南関町の良さを周知、教育(子ども向けにも)☆ ●婚活を盛り上げて独身者を減らす☆ ●移住者や有志の交流会開催などオープンなコミュニティづくり☆ ●町内転居や世代交代を促し人の流れを活性化 ●県境独特の歴史文化を他の市町村にはないので広く紹介したい 案内所 ●文化人芸能者やインフルエンサーを呼ぶ ●役場にスタバをオープン ●夜のイベントやたき火 ●1000人集まるイベントより100人集めるイベントを個人で10個やる ●トッパ丸引退 フェス ●スマホの活用(町から町民・外への情報)